

平成12年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成12年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成12年11月13日(月)にNTT姫路しらさぎ会館において開催された。

この検討会には、試験場関係者42名、委託関係者29名ほか、計75名の参集を得て、除草剤

13薬剤(47点)、抑草剤1薬剤(1点)、生育調節剤7薬剤(45点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成12年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除 草 剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草；ねらい] 処理時期 ；薬量g・ml<水量ℓ>/a ；処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-7111-MC 粒 剤 DBN 3.5% 〔アグロネショウ〕	カン キツ	作用性 新 規	果樹試験場(興津) (1)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 春期 雑草発生前～発生始期 (草丈10cm以下) ；800, 1000, 1200g ；土壌処理 対：DBN粒6.7 1000g	—	
2. AKD-7111-MCL 粒 剤 DBN 3% 〔アグロネショウ〕	カン キツ	作用性 新 規	果樹試験場(興津) (1)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 春期 雑草発生前～発生始期 (草丈10cm以下) ；800, 1000, 1200g ；土壌処理 対：DBN粒6.7 1000g	—	
3. AKD-776MC 70777 剤 (カソロMC) DBN 15% 〔アグロネショウ〕	カン キツ	適用性 継 続	兵庫淡路農技、 佐賀果試、 鹿児島果試 (3)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 春期 雑草発生前～発生摘期 (草丈10cm以下) ；300, 400ml<10ℓ> ；茎葉処理 対：DBN粒6.7 1000g	実・ 継	実) [カンキツ：一年生雑草] ・春期 雑草発生前～摘期 (草丈10cm以下)。 ・300～400ml/a<10L/a>。 ・茎葉処理。 継) 多年生広葉雑草(スギナを含む)に対する効果の確認。
4. CG-231GT 70777 剤 (レビ>GT) ブクアエシル 3.6% グリホサートイソプロピルアミン塩 14.4% 〔ハルティス アグロ〕	カン キツ	適用性 継 続	和歌山果園試、 兵庫淡路農技、 香川農試府中、 鹿児島果試 (4)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ；40, 50, 60ml<2.5ℓ>(少量水/スル)>、40, 50ml<5ℓ>(少量水/スル)>50ml<5ℓ> ；茎葉処理 対：CG-231GT70777 剤 50ml<10ℓ>	実・ 継	実) [カンキツ：雑草全般] ・春～夏期。 雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・40～60ml/a <5～10L/a>。 50～60ml/a <2.5～5L/a(専用スル使用)>。 ・茎葉処理。 継) 低薬量での散布水量と効果の確認。

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草；ねらい] 処理時期 ；薬量g・ml<水量ℓ>/a ；処理方法等	判 定	内 容
5. F-701 顆粒水和剤 カルフェントラザンエチル 0.7% グリホサートアンモニウム塩 25.0% [エフ・イー・シー]	カン キツ	適用性 継 続	神奈川根府川、 山口大島かん試、 香川農試府中、 愛媛果試、 徳島果試、 熊本農研天草 (6)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ；30, 40, 50 g<10ℓ> ；茎葉処理 対：ハースタ液剤 50ml<10ℓ>	実	(前回判定通り) 実) [カンキツ：雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下) ・30～50g/a <10L/a>. ・茎葉処理.
6. NH-007 フロアール剤 ピラフルフェニチル 0.16% グリホサートイソプロピルアミン塩 30.0% [日本農業]	カン キツ	適用性 新 規	鹿児島大学、 大阪農技、 和歌山果園試、 広島果樹柑橘研 〈夏〉、 長崎果試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ；40, 50, 60ml<10ℓ> ；茎葉処理 対：ハースタ液剤 50ml<10ℓ>	継	継) ・効果、薬害の確認。
7. SUM-99 フロアール剤 グリホサートイソプロピルアミン塩 30% アルミホウ酸ナトリウム 1% [日本モンサント、 住友化学工業]	カン キツ	適用性 新 規	鹿児島大学、 愛知農総試蒲郡、 和歌山果園試、 高知農技果試、 熊本農研果树 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ；40, 50, 60ml<10ℓ> ；茎葉処理 対：ハースタ液剤50ml<10ℓ>	継	継) ・効果、薬害の確認。
8. SW-996 フロアール剤 グリホサートイソプロピルアミン塩 26% アザフェニジン 11% [デューポン、三共]	カン キツ	適用性 新 規	三重農技紀南、 山口大島かん試、 長崎果試、 宮崎総農試、 鹿児島果試 (5)	[雑草全般(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ；40, 50, 60ml<10ℓ> ；茎葉処理 対：三共の草枯らし 50ml<10ℓ>	継	継) ・効果、薬害の確認。
		薬 害 新 規	三重農技紀南、 宮崎総農試 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期 120→120ml<10ℓ> ②夏期 300ml<10ℓ> ; 土壌処理 ③夏期 60ml<10ℓ> ; 茎葉処理		
9. ZK-121 液剤 ジクワッドジプロメト 6.3% メチルピオラゾリン(ハラクート ジクロリドの別名) 4.5% [セーバ]	カン キツ	適用性 新 規	愛知農総試蒲郡、 大阪農技、 山口大島かん試、 徳島果試、 熊本農研果树 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ；100, 150, 200ml <10ℓ> ；茎葉処理(展着剤加用) 対：ゾリグロックス液剤 100ml<10ℓ>	継	継) ・効果、薬害の確認。
		薬 害 新 規	神奈川根府川、 徳島果試 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期又は夏期 1000ml<10ℓ> ；土壌処理 ③夏期 200ml<10ℓ> ；茎葉処理 (共に展着剤加用)		

B. 平成11年度 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. F-701 顆粒水和剤 カルフェントラザンエチル 0.7% グリホサートアンモニウム塩 25.0% [エフ・エム・シー]	カン キツ	適用性 継 続	広島果樹柑橘研 (夏) (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 30, 40, 50 g<10ℓ> ; 茎葉処理 対: ハース液剤 50ml<10ℓ>	実	(前回判定通り) 実) [カンキツ: 雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・30～50g/a <10L/a>. ・茎葉処理.
2. DKH-628 フロアール剤 (イノベーションフロアール) アザフェンジン 11% グリホサートトリウム塩 28% [ゼネカ、デュボン]	カン キツ	適用性 継 続	鹿児島果試 (1)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: タッチダウン液剤 50ml<10ℓ>	実・ 継	実) [カンキツ: 雑草全般] ・早春～夏期、秋冬期. 雑草生育期(草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10L/a>. ・茎葉処理. 継) ・早春～夏期処理での散布水量 について.
3. MON-96A 液剤 (ラウンドアップハード) グリホサートアンモニウム塩 41% [日本モンサント]	カン キツ	適用性 継 続	愛知農総試蒲郡、 和歌山果園試、 広島果樹柑橘研、 山口大島かん試、 佐賀果試 (5)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 25ml<2.5, 5, 10ℓ>, 50ml<5ℓ> (少水量散布/スℓ) ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ液剤 25ml <2.5ℓ (少水量散布/スℓ)>	実	実) [カンキツ: 雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象: 25～50ml/a 多年生雑草対象: 50～100ml/a <2.5～5L/a (専用/スℓ使用)、 5～10L/a>. スギナ対象: 150～200ml/a <2.5 ～5L/a (専用/スℓ使用)>. ・茎葉処理.
		適用性 継 続	山口大島かん試 (1)	[スギナ(翌春調査)] 春期 生育期(草丈20～25cm) ; 150ml<2.5, 5ℓ>, 200ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布/スℓ)		・秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・25～50ml/a <2.5～5L/a (専用 /スℓ使用)、5～10L/a>. ・茎葉処理.
4. SUM-99 フロアール剤 グリホサートトリウム塩 30% アザフェンジン 1% [日本モンサント、 住友化学工業]	カン キツ	適用性 新 規	静岡柑試、 愛知農総試蒲郡、 和歌山果園試、 広島果樹柑橘研、 山口大島かん試 (5)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 40, 50, 60ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ液剤 50ml<5ℓ>	継	継) ・効果、薬害の確認.

C. 抑草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. KUH-913 液剤 (クラスショット) ピーストリバクナトリウム塩 3% [クマイ化学工業]	カン キツ	適用性 継 続	宮崎総農試 (1)	[一年生雑草] 雑草生育初期又は草刈り後 (草丈10～20cm) ; 30, 40, 50ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: プリグロクシ液剤 80ml<10ℓ>	継	(前回判定通り) 継) ・散布時期と使用量について. ・使用場面について.

D. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-8083 乳剤 (マデックEW) MCPB 20% [アケロカネショウ]	河内 晩柑	適用性 継 続	<愛媛県試南予>、 <熊本農研果樹>、 <熊本農研天草> (3)	[冬期落果防止] 11月中旬及び翌年1月下旬の 2回散布 ; 3000倍液→3000倍液, 2000倍 液→2000倍液 ; 立木全面散布 対: マデック乳剤 2000倍液→2000 倍液	—	
	清 見	適用性 継 続	<広島果樹柑橘研>、 <香川農試府中> (2)	[冬期落果防止] 11月下旬及び12月下旬の 2回散布 ; 3000倍液→3000倍液 <30~40ℓ/10a> ; 立木全面又は枝別散布 対: マデック乳剤 3000倍液 <30~40ℓ/10a>	—	
2. GP-011 液剤 n-Propyl dihydroj asmonate (PDJ) 1% GA ₃ 1% [GP研究会:日本ゼン]	ウンシュ ミカン	作用性 新 規	<愛知農総試蒲郡> <山口大島かん試> (2)	[浮皮軽減] ①ホタル尻期 ②浮皮発生始期 ; 500, 300倍液 ; 果実を中心に散布	—	
3. HOK-813 乳剤 (ミノリト) MCPAチオエチル 20% [北興化学工業]	河内 晩柑	適用性 継 続	<愛媛県試岩城>、 <熊本農研天草> (2)	[冬期落果防止] 11月中旬及び翌年1月下旬の 2回散布 ; 3000倍液→3000倍液, 2000倍液→2000倍液, 1000倍液→1000倍液 ; 立木全面散布 対: マデック乳剤 11月中旬及び翌 年1月下旬 3000→3000倍液	—	
	清 見	適用性 継 続	<果樹試カンキ (口之津)>、 <広島果樹柑橘研>、 <香川農試府中> (3)	[冬期落果防止] 11月中旬及び12月下旬の 2回散布 ; 3000倍液→3000倍液, 1500倍液→1500倍液 ; 立木全面散布 対: マデック乳剤 11月中旬及び12 月下旬 3000倍液→3000倍液	—	
	日向夏	適用性 継 続	<静岡柑試伊豆>、 <宮崎総農試 垂熟帯> (2)	[冬期落果防止] 11月上旬及び12月上旬の 2回散布 ; 3000倍液→3000倍液, 1500倍液→1500倍液 ; 立木全面散布 対: マデック乳剤 11月上旬及び12 月上旬 3000倍液→3000倍液	—	
	ハッ サク	適用性 新 規	<和歌山果園試>、 <広島果樹柑橘研>、 <愛媛県試岩城>、 <福岡農総試園研> (4)	[へた落ち防止] ①収穫10日前 ②収穫20日前 ; 4000, 2000倍液 ; 立木全面散布 対: マデック乳剤 収穫20日前 3000倍液	—	

D. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
4. RIC-1 液剤 (ケルパ ック66) 海藻糖ゼネート [ロイヤルインダストリーズ]	不知火	作用性 継 続	<果樹試み> (口之津)>(1)	[若木の生育促進] ; 一任	—	
	不知火	適用性 継 続	<愛媛県試南予> <愛媛県試岩城> <長崎県試> <熊本農研天草> (4)	[樹勢、品質、収量への影響 (連年処理)] ①2月; 1ℓ/10a; 土壌処理→ 5, 6, 7, 8月中旬; 3000倍液; 葉面散布(4回処理) ②2月; 1000倍液→3, 4, 5, 6, 7, 8 月中旬; 3000倍液; 葉面散布 (7回処理)	—	
5. ジベレリン 液剤 (ジベレリン) 0.5% [協和発酵]	日向夏	適用性 新 規	<宮崎総農試 亜熱帯> (1)	[無種子化、落果防止] 満開7~10日後 ; 500, 300倍液 ; 果実散布	—	
6. ジベレリン 水溶剤 (ジベレリン) 3.1% [協和発酵]	不知火	適用性 新 規	<広島果樹柑橘研> <愛媛県試南予> <熊本農研果樹> (3)	[水腐れ軽減] ①着色中期 ②着色終期 ; 0.5, 1ppm ; 果実散布	—	

E. 平成11年度 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-8083 乳剤 (マデ ックEW) MCPB 20% (製剤変更)	アマ ナツ	適用性 継 続	三重農技紀南、 山口萩かん試、 熊本農研果樹 (3)	[へた落ち防止] 収穫20日前 ; 3000倍液<30~40ℓ> ; 立木全面又は枝別散布 対: マデ ック乳剤 3000倍液 <30~40ℓ> (常温貯蔵)	実 ・ 継	(前回判定通り) 実) [アマナツ: へた落ち防止] ・ 収穫前20日 1回散布. ・ 3000倍<30~40L/a>. ・ 立木全面散布. (継) ・ 効果の確認.
	ハッ サク	適用性 継 続	和歌山果園試、 徳島果試 (2)		実	(前回判定通り) 実) [ハッサク: へた落ち防止] ・ 収穫前20日 1回散布. ・ 3000倍<30~40L/a>. ・ 立木全面散布.
(つづく)	ネー ブル	適用性 継 続	徳島果試、 香川農試府中 (2)		実	(前回判定通り) 実) [ネーブルオレンジ: へた 落ち防止] ・ 収穫前20日 1回散布. ・ 3000倍<30~40L/a>. ・ 立木全面散布.

E. 平成11年度 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
AKD-8083 乳 剤 (つづき)	伊予柑	(10年度) 適用性 継 続	山口大島かん試 (1)	[冬期落果防止] 11月下旬及び12月下旬の 2回散布 ; 3000倍液<30~40ℓ> ; 立木全面又は枝別散布 対: マデック乳剤 3000倍液 <30~40ℓ>	実・ 継	(前回判定通り) ・実) [伊予柑: へた落ち防止] ・収穫前20~10日 1回散布. ・3000~2000倍 <30~40L/a>. ・立木全面散布. (継) ・効果、葉害の確認. ・果皮色について.
	清 見	適用性 継 続	香川農試府中, 愛媛果試南予, 佐賀果試 (3)		実・ 継	実) [清見: 冬期落果防止] ・11月下旬及び12月下旬 2回 散布. ・3000倍 <30~40L/a>. ・立木全面散布. (継) ・効果、葉害の確認.
	河内 晩柑	適用性 継 続	愛媛果試南予, 熊本農研天草 (2)		実・ 継	実) [河内晩柑: 冬期落果防止] ・11月上旬及び12~1月 2回散布. ・3000~2000倍 <30~40L/a>. ・立木全面散布. (継) ・処理時期と効果、葉害の確 認.
[アガロネショウ]						
2. CS-2H 水溶剤 (セルバイン) 硫酸カルシウム二水和物 57% 塩化カルシウム 27% その他 16% [白石カルシウム]	ウシユ ミカン	適用性 継 続	神奈川根府川, 静岡柑試, 愛知農総試蒲郡 山口大島かん試 (4)	[予措促進(浮皮防止)] ①夏秋期 8/下→9/下→10/中 ②秋期 9/下→10/中→11/中 ; 300倍液 3回散布 ; 立木全面又は枝別散布 対: クルポン水和剤 100倍液 着色開始期から2回散布	継 (継)	・効果の確認.
3. HOK-813 乳 剤 (ミリト' 乳剤) MCPAチエチル 20%	河内 晩柑	適用性 新 規	愛媛果試南予, 熊本農研天草 (2)	[冬期落果防止] 11月中旬及び翌年1月下旬の 2回散布 ; 3000, 2000, 1000倍液 ; 立木全面散布 対: マデック乳剤 3000倍液	継 (継)	・処理時期と効果、葉害の確 認.
	ブンタン	適用性 新 規	鹿児島大学, 熊本農研天草, 鹿児島果試 (3)		継 (継)	・効果の確認.
	日向夏	適用性 新 規	宮崎総農試亜熱帯 (1)		継 (継)	・濃度と効果の検討.
	清 見	適用性 新 規	果樹試かんキ (口之津), 神奈川根府川, 広島果樹柑橘研 香川農試府中, 愛媛果試南予, 佐賀果試 (6)	[冬期落果防止] 11月中旬及び12月下旬の 2回散布 ; 3000, 1500倍液 ; 立木全面散布 対: マデック乳剤 3000倍液 11月中旬及び翌年1月下旬の 2回散布	継 (継)	・効果、葉害の確認.
[北興化学工業]						

E. 平成11年度 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
4. MB-975 液剤 グルコン酸カルシウム 64% 乳酸カルシウム 16% [丸和パ'イオミカル]	早生・ 普通 ウシユ ミカ	作用性 継 続	(早生ウシユミカ) 果樹試かんツ (口之津)、 熊本農研果樹、 (普通ウシユミカ) 果樹試かんツ (興津)、 福岡農総試園研 (4)	[品質向上(減酸、着色、浮皮等)] (参考設計) 早生ウシユ ①8/中、9/上(収穫2.5ヶ月前) ②9/中、10/上(1.5) 普通ウシユ ①9/上、9/下(収穫3ヶ月前) ②10/上、10/下(2) ; 200倍液 ; 枝別散布 対: 無処理	—	(・早生ウシユ、普通ウシユとも 効果は認められなかった)
5. RIC-1 液剤 (ケルパ'ック66) 海藻ホジ'ネット	不知火 宮内 伊予柑	作用性 新 規 作用性 継 続	果樹試かんツ (口之津) (1) 果樹試かんツ (口之津) (1)	[若木の生育促進(連年処理)] ; 一任 [樹勢・品質向上・収量 (連年処理)] 3月下旬+8月下旬の2回 ; 500倍液<10ℓ>/1樹 ; 灌水散布 対: 水<10ℓ>/1樹	— 実・ 継	(前回判定通り) 実) [伊予柑: 樹勢強化による 着果安定及び果実肥大促進] ・3月: 土壤灌水 +4月~9月: 立木全面散 布. ・灌水: 0.1ℓ/a<500~1000倍 液>、 散布: 5000~3000倍液 <25~ 50ℓ/a>、1ヶ月毎に4~6回. 継) ・効果の確認.
[ロイヤルイン'ストリス']	不知火 (成木)	適用性 継 続	(初年目) 愛媛果試南予 (2年目) 広島果樹柑橘研 熊本農研天草 (3年目) 愛媛果試岩城 (4)	[樹勢・品質向上・収量 (連年処理)] ①灌水; 3月 原液0.1ℓ +葉面; 5, 6, 7, 8月の各中 旬3000倍液 4回散布 ②葉面; 3, 4, 5, 6, 7, 8月各中 旬3000倍液 6回散布 (灌水散布では、土が乾燥して いる場合は3000倍、他は500~ 1000倍で行う)	継	継) ・連年処理での効果の確認.
6. ジ'ベ'レリン 水溶剤 (ジ'ベ'レリン) ジ'ベ'レリン 3.1% [協和醗酵]	不知火	適用性 新 規	広島果樹柑橘研、 愛媛果試南予、 佐賀果試、 熊本農研果樹 (4)	[花芽抑制による樹勢の維持] 12月下旬~1月下旬 ; 25, 50ppm ; 枝別散布	実・ 継	実) [不知火: 花芽抑制による 樹勢の維持] ・1月下旬(収穫後). ・25~50ppm. ・立木全面又は枝別散布. 継) ・効果、葉害(新梢葉への影 響)の確認.
7. エ'ホ'ン 液剤 (エ'ホ'ル10) エ'ホ'ン 10% [2, 4D協議会]	キンカン	自 主	宮崎総農試亜熱帯、 鹿児島果試 (2)	[着色促進] 着色期 ; 300, 500, 800倍液(宮崎) 300, 600倍液(鹿児島) ; 立木全面散布	実・ 継	実) [キンカン: 着色促進] ・着色始期. ・800~500倍. ・立木全面散布. 注) 高温(24℃以上)の場合 は落葉、落果のおそれがあ るので、散布量に十分注意 する. 継) ・濃度と落葉、落果の検討.